

御嶽山シンポジウムに参加しました(12月16日、17日)

令和4年12月16, 17日の2日間にわたって、木曽町にて御嶽山シンポジウム「御嶽山・箱根山・草津白根山ー水蒸気噴火および防災と観光ー」が開催されました(WEB聴講あり)。
1日目:水蒸気噴火に関する学術シンポジウム、2日目:活火山の防災と観光に関するシンポジウム
このシンポジウムは、上記3つの火山の水蒸気噴火を振り返り、火山の地元の住民と行政、研究者が、火山防災への取組と課題を共有して、活火山と共生する地域づくりを考えることを目的としています。



山岡先生

名古屋大学



2日目の総合討論

御嶽山と同じく観光地であり、ともに水蒸気噴火を経験した草津白根山、箱根山の、火山を正しく恐れながら、安全な観光を目指す取組には、地元と研究機関との密な協力・連携があったことを知り、関係機関の苦労を思いました。

1日目は、多治見砂防の御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画の委員をつとめる先生方の発表がありました。



及川先生

産業技術総合研究所



木曽町
原町長

2日目の総合討論で、古くから信仰の山であり、地元では「おやま」と親しまれる御嶽山の魅力について語る原町長。

御嶽山・箱根山・草津白根山
ー水蒸気噴火および防災と観光ー

御嶽山シンポジウム

12月16日 13:00~18:00
水蒸気噴火に関する学術シンポジウム

12月17日 9:30~15:30
活火山の防災と観光に関するシンポジウム

会場 多治見市文化センター 多目的ホール
入場料 無料
申込 12月12日迄
申込先 <http://www.city-tajima.lg.jp/syokai/syokai.html>